退職金共済とは
要点まとめ

Money Forward クラウド

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

退職金共済とは 要点まとめ

退職金共済制度は、企業が外部機関と契約し、従業員の退職金を計画的に積み立てる仕組みです。「中小企業退職金共済制度（中退共）」は、「導入のしやすさ」「公的助成」「事務負担の軽減」から、特に小規模企業に最適な選択肢です。

【退職金制度の主な種類】

制度名	特徴
退職一時金制度	退職時に一括で支給。企業が内部で資金準備。柔軟性はあるが財務負担が大きい。
退職金共済制度	外部共済に掛金を預ける。中退共は国の助成あり。全額損金算入可。
確定給付企業年金（DB）	企業が年金額を保証する。運用リスクは企業負担。規約型と基金型がある。
企業型確定拠出年金（DC）	掛金は企業負担、運用は従業員自身。原則60歳まで受け取れず、転職時に持ち運び可能。

© MoneyForward, Inc.

退職金共済とは 要点まとめ

【中小企業退職金共済（中退共）の概要】

- 対象：常用従業員数300人以下または資本金3億円以下（業種により異なる）
- 掛金：月額5,000〜30,000円（全額事業主負担・損金扱い）
- 国の助成：加入後4か月目から1年間、掛金1/2（上限5,000円）助成あり
- メリット：外部運用で企業の管理負担軽減／税制優遇
- 注意点：掛金変更に制限／従業員負担不可

© MoneyForward, Inc.

退職金共済とは 要点まとめ

【共済制度の比較】

制度名	対象・特徴	併用可否
中退共	中小企業（国の支援制度）	○
小規模企業共済	経営者・役員向け（個人事業主も対象）	×（中退共と）
特定退職金共済	商工会議所などが運営する。短期加入でも受給可能	○
特定業種退職金共済	建設・林業など日払いベース。業界を離れると受給。	×（中退共と）
社会福祉施設職員等退職手当共済	福祉施設職員向け。高掛金で手厚い。	×（中退共と）

© MoneyForward, Inc.